



新名主 敏史

鹿児島修学館中学校・高等学校
MYPコーディネーター

本記事で紹介するIBENの役職

MYP Workshop Leader

- MYP Leading the learning
- Personal Project

活動期間：2024年 11月～現在

応募した理由

所属校のMYP正式認定を機に、IB教育への理解をさらに深めたいと考えたことがきっかけです。学校のワークショップ参加予算に限りがあるという現実的な課題がある中、自身がIBENメンバー（Workshop Leader）となることで、最新の知見やノウハウを校内に直接還元し、予算面をカバーしつつ自校の教育の質を高められると考え応募しました。

応募から任用までのプロセス

- 申込 2023年 8月
 - 学校がMYP正式認定されたことを機に、MyIBから応募
 - 所属組織の上長の承認、志望動機等の入力
- 研修 2024年 10月～11月
 - バーチャル・オンラインで2か月間、80時間のトレーニングを受講
- 評価 2024年 11月
 - 同じトレーニンググループ参加者を相手に模擬ワークショップを実施する様子をトレーナーが評価
- 正式な認定 2024年 11月
 - 認定証(IB Training Certificate)受領

活動内容

たいてい1~2ヶ月前頃に担当が確定するので、本格的な準備はそこから行います。ただし、初めて担当するワークショップについては、Workshop Leaderの候補になり、可能性が発生した段階から資料等には目を通して、イメージをつかむようにしています。準備を進めるのは、学校の休日が多いです。IB機構が示しているサンプルになるべく忠実に準備し、参加者の状況がわかった段階で微修正を加えています。

個人の成長や学校への影響

教員向けワークショップの手法が生徒の探究的な学びと「相似形」であることをさらに実感し、日々の授業や指導、さらには校内研修につながっています。また、ベテランのWorkshop Leaderの先生方からの学びも非常に多く、刺激を受けられることも嬉しいです。IB導入当初に校内での大きな悩みの一つだった「この実践で“合っている”のか分からない」という声に対して、「我々の学校なりの正解」に向けて探究していきましょう」と言えるようになりました。

